

事業名

日本人向け「やさしい日本語」ワークショップ － 在住外国人とのよりよいコミュニケーションのために －

実施団体

「やさしい日本語」を広める会

◆会の活動目標

日本人、地域の外国人がともに住みやすい社会に♡
まずは

仕事で外国の人と接する人たちから、「やさしい日本語」を知って活用してもらい、日本の人も外国の人も、もっと気持ちを楽にコミュニケーションをとれるようになってほしい！

そして

「これはいいな♪使える」と思った人から「やさしい日本語」を周りの人に伝えファンを増やして欲しい！



「やさしい日本語」を広める会の活動は、
京都市の市政ポータルサイト「まちづくり・
お宝バンク」をご覧ください。



1. 保育・幼児教育施設へのヒアリング実施

6～11月、保育園・幼稚園、子育て支援施設など、子育て関連の施設や個人へのヒアリングを15回実施。外国につながるご家族とのコミュニケーションについてもっとお聞きしたいと、昨年度に作成・配布したリーフレットへの反応があった施設から始めたヒアリングでした。

気づき 外国につながるお子さんを継続的に受け入れ、経験を重ねている施設に共通しているのは、園のすべての子どもの健全な育ちを考え、権利を尊重しておられることでした。外国につながる子どもの対応にも、おのずと工夫を重ねて 試行錯誤されていました。また、子ども、保護者双方との信頼関係を重視して、丁寧なコミュニケーションを大切にされているのが印象的でした。

2. ヒアリング報告書の作成・配布

12月、ヒアリングしてきた内容をまとめ報告書を作成。前年度リーフレットをお配りした子育て関係施設に加え、保育・幼児教育科のある大学等 117か所に、600部以上ワークショップの案内と共に送付しました。外国につながるお子さん受け入れを多く経験し工夫を積み重ねておられる施設の話と共有していただくことで、今後外国のご家族受け入れに役立てていただきたいと考えました。



リーフレット

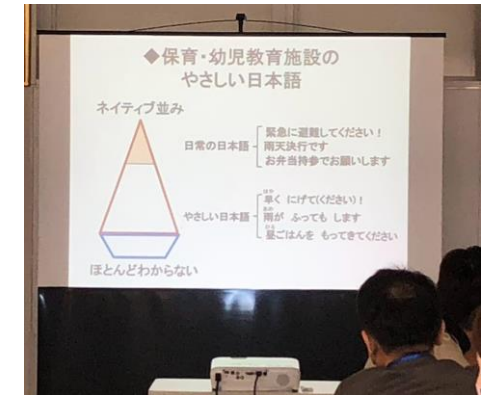


こんな拡がりもありました！

ヒアリングをしていく中で、何十年も外国のお子さんの保育をされてきた園のお話を伺うことができました。その園では「宗教（ハラル）対応マニュアル」を作っていたりしゃったのですが、よりよいものにしていくため、当会が協力させていただいています。このマニュアルが完成後は当会からも情報発信していく予定です。

3. ワークショップ実施（1/15、1/29）

保育士・幼稚園教諭、子育て支援に関心のある方向けの講座「『やさしい日本語』を使ってみよう」を実施。子育ての現場ならではの「特定の相手と信頼関係を積み重ねていくためのやさしい日本語」のワークショップの工夫をしました。受講者からは「自分の当たり前が他の人の当たり前でないという意識で、確認しながら話すことが大切だと思った」「ゲストの方と実際に話して伝える経験ができた。たくさんの学び、発見となった」などの感想をいただきました。



4. 子育ての場以外の職域にも

①交通局人権講座

8/27に実施。海外ルーツなどの多様性のある家族の子育て支援をしているグループTABUNKOと共に当会が担当。

TABUNKOの講義で、交通局の方たちが「多様性と異文化理解」について意識し理解を深められた後、やさしい日本語の意義や考え方・コツについてお伝えできました。「国にかかわらず、その人の個性を理解する気持ちが異文化理解のために大切と感じた」「やさしい日本語については初めて聞いたが、今後ぜひ活用したい」といった前向きな感想が励みになりました。

②薬局への「やさしい日本語」普及活動に着手

薬局・薬剤師の方たちに「やさしい日本語」を知って活用していただくためのプロジェクト。まずは現場のコミュニケーションについてのヒアリングを始めています。

③京都府警察本部での「やさしい日本語」啓発に協力

「やさしい日本語」日めくりカレンダーへの校閲・アドバイスをさせていただきました。



書き言葉編

- ①大事なポイントだけ書く
- ②イラストなどでわかりやすくする
- ③ひらがなを使う
漢字にふりがなをつける

ここで たばこを
すわないでください



5. メディアでの紹介

いくつかのメディアで当会の活動を取り上げていただきました。

- ◆KBS京都 笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ「『やさしい日本語』を広め、だれもが生きやすい地域社会に」
- ◆上京ふれあいネットカミング「言葉もユニバーサルデザイン化する時代」
- ◆京都新聞「薬局での外国人対応 改善の動き」
- ◆京都府国際センターメルマガ「保育・幼児教育施設での『やさしい日本語』の取り組み」

他

